

相鉄いずみ野線の加算運賃について

相鉄いずみ野線につきましては、1976年に二俣川駅からいずみ野駅まで、1990年にいずみ野駅からいずみ中央駅まで、さらに1999年にいずみ中央駅から湘南台駅まで、3期に分けて開業いたしました。

新線建設に伴う設備投資額等の回収に充てるため、当該区間をご利用のお客様には、開業時より加算運賃をいただいております。

お客様には長期間に亘り加算運賃をご負担いただいているところでございますが、コロナ禍を発端とした新しい生活様式の定着等の影響により、特に通勤定期利用者がコロナ禍前の水準まで回復しない状況が続いており、2025年度決算時点において、開業時設備投資額、配当所要額、支払利息の回収率は18.5%となっております。(下表参照)

	累 計	2025年度
開業時設備投資額(A)	748億円	—
支払利息、配当所要額の累計額(B)	542億円	8億円
加算運賃収入累計額(C)	191億円	6億円
基本運賃収入からの回収累計額(D)	48億円	1億円
回収率(C+D)/(A+B) × 100	18.5%	—

一方で、2024年7月にゆめが丘駅前にオープンした大規模集客施設(ゆめが丘ソラトス)の開業効果等により、2025年度の相鉄いずみ野線輸送人員は前年度から増加いたしました。今後「泉ゆめが丘地区土地区画整理事業」のエリア内において、分譲・賃貸マンションの建設、駅周辺の高架下空間の開発などが計画され、同線の輸送人員の更なる増加が見込まれることから、引き続き、お客様のご利用状況に注視してまいりたいと考えております。

当該区間をご利用のお客様におかれましては、加算運賃のご負担について、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

相鉄いずみ野線の加算運賃について

		普通 旅客運賃	通勤定期 (1ヶ月)	通学定期 (1ヶ月)	運賃設定時期
(1) 二俣川～いずみ中央間	6kmまで	20円	430円	210円	1976年4月
	6kmを超え9kmまで	40円	860円	440円	1990年4月
(2) いずみ中央～湘南台間		30円	640円	330円	1999年3月

※上記運賃は2019年10月1日からの運賃

【加算運賃に係る資本費コスト及び回収額】

(単位:百万円)

年 度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度まで の累計額
A 設備投資額 74,763						74,763
B 支払利息・配当所要額	158	158	773	786	755	54,226
C 加算運賃収入	435	453	542	607	629	19,084
D 基本運賃収入からの回収額	0	0	0	30	66	4,837
年度末累計額による回収率 ※	17.1%	17.4%	17.7%	18.1%	18.5%	18.5%

※(C+D) / (A+B) × 100

【鉄道事業収支】

(単位:百万円)

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
営業 収入	旅客運賃	25,016	27,356	32,280	33,645	34,728
	運輸雑収	2,386	2,472	3,239	3,125	3,088
	計	27,402	29,828	35,519	36,769	37,815
営業 費用	人件費	8,987	8,947	8,962	8,391	8,371
	修繕費	1,661	1,626	1,998	2,182	2,635
	その他経費	7,981	9,158	9,293	9,994	10,732
	諸税	1,584	1,665	1,697	1,872	1,791
	減価償却費	9,259	9,493	10,226	9,526	8,780
	計	29,472	30,889	32,176	31,965	32,309
営業損益		▲ 2,070	▲ 1,060	3,342	4,805	5,506
営業外収益		177	115	34	80	223
営業外費用		606	626	639	672	696
経常損益		▲ 2,499	▲ 1,571	2,736	4,213	5,033
法人税等(調整額含む)		▲ 1,109	▲ 13	856	1,408	1,808
当期純利益		▲ 1,391	▲ 1,558	1,881	2,805	3,225
配当所要額		0	0	2,450	2,450	2,450
最終損益		▲ 1,391	▲ 1,558	▲ 569	355	775
基本運賃 収入割合	全線	24,405	26,677	30,670	31,777	32,698
	加算区間	1,980	2,136	2,457	2,694	2,780
	比率	8.1%	8.0%	8.0%	8.5%	8.5%

加算区間に係る按分額(鉄道事業最終損益×基本運賃収入割合(損失の場合は0))

基本運賃収入からの回収額	0	0	0	30	66
--------------	---	---	---	----	----

相鉄新横浜線の加算運賃について

相鉄新横浜線につきましては、2019年に西谷駅から羽沢横浜国大駅まで、2023年に羽沢横浜国大駅から新横浜駅まで、2期に分けて開業いたしました。

新線建設に伴う設備投資額や施設使用料等の回収に充てるため、当該区間をご利用のお客様には、開業時より加算運賃をいただいておりますが、全線開業後間もないことに加え、コロナ禍を発端とした新しい生活様式の定着等の影響により、特に通勤定期利用者がコロナ禍前の水準まで回復しない状況が続いており、2025年度決算時点において、開業時設備投資額、施設使用料、配当所要額、支払利息の回収率は、17.7%となっております。(下表参照)

	累 計	2025年度
開業時設備投資額(A)	151億円	—
施設使用料、支払利息、配当所要額の累計額(B)	99億円	25億円
加算運賃収入累計額(C)	43億円	14億円
基本運賃収入からの回収累計額(D)	1億円	1億円
回収率(C+D)/(A+B) × 100	17.7%	—

また、2023年3月の羽沢横浜国大駅～新横浜駅間の開業により、建設に伴う設備投資額や施設使用料等が増加していることから、当該区間をご利用のお客様におかれましては、加算運賃のご負担について、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

相鉄新横浜線の加算運賃について

	普通 旅客運賃	通勤定期 (1ヶ月)	通学定期 (1ヶ月)	運賃設定時期
西谷～羽沢横浜国大間	30円	1,160円	440円	2019年11月
羽沢横浜国大～新横浜間	40円	1,520円	580円	2023年3月

※羽沢横浜国大～新横浜間は2023年3月18日開業

【加算運賃に係る資本費コスト及び回収額】

(単位:百万円)

年 度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度まで の累計額
A 設備投資額 15,110						15,110
B 施設使用料・支払利息・配当所要額	1,247	1,585	1,310	1,893	2,474	9,905
C 加算運賃収入	175	226	1,068	1,261	1,402	4,345
D 基本運賃収入からの回収額	0	0	0	27	63	94
年度末累計額による回収率 ※	5.0%	3.2%	8.2%	13.2%	17.7%	17.7%

※(C+D) / (A+B) × 100

【鉄道事業収支】

(単位:百万円)

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
営業 収入	旅客運賃	25,016	27,356	32,280	33,645	34,728
	運輸雑収	2,386	2,472	3,239	3,125	3,088
	計	27,402	29,828	35,519	36,769	37,815
営業 費用	人件費	8,987	8,947	8,962	8,391	8,371
	修繕費	1,661	1,626	1,998	2,182	2,635
	その他経費	7,981	9,158	9,293	9,994	10,732
	諸税	1,584	1,665	1,697	1,872	1,791
	減価償却費	9,259	9,493	10,226	9,526	8,780
	計	29,472	30,889	32,176	31,965	32,309
営業損益		▲ 2,070	▲ 1,060	3,342	4,805	5,506
営業外収益		177	115	34	80	223
営業外費用		606	626	639	672	696
経常損益		▲ 2,499	▲ 1,571	2,736	4,213	5,033
法人税等(調整額含む)		▲ 1,109	▲ 13	856	1,408	1,808
当期純利益		▲ 1,391	▲ 1,558	1,881	2,805	3,225
配当所要額		0	0	2,450	2,450	2,450
最終損益		▲ 1,391	▲ 1,558	▲ 569	355	775

基本運賃 収入割合	全線	24,405	26,677	30,670	31,777	32,698
	加算区間	360	484	2,041	2,405	2,675
	比率	1.5%	1.8%	6.7%	7.6%	8.2%

加算区間に係る按分額(鉄道事業最終損益×基本運賃収入割合(損失の場合は0))

基本運賃収入からの回収額	0	0	0	27	63
--------------	---	---	---	----	----